

# 食道癌

No	レジメン名 (進行再発)	No	レジメン名
OK-1	<a href="#">FP (5-FU+CDDP) (FP800/80療法)</a>	OK-8	<a href="#">FP (5-FU+CDDP) (FP800/80療法) (術前)</a>
OK-3	<a href="#">CDGP+5-FU</a>		
OK-4	<a href="#">3wDTX</a>		
OK-5	<a href="#">wPTX (3投1休)</a>		
OK-6	<a href="#">wPTX (6投2休)</a>		
OK-7	<a href="#">オブジーボ</a>		

登録日： 年 月 日

参考文献：

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
FP療法(進行再発)	食道癌	最大 6コース	28 日	高度	年 月 日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
生理食塩液	1000ml	点滴静注	0時まで	○																														
生理食塩液	1000ml	点滴静注	24時間		○	○	○	○	○																									
生理食塩液	500ml	点滴静注	ルートキープ							○																								
生理食塩液	500ml	点滴静注	1時間																															
硫酸Mg補正液	8mEq			○																														
アスパラギン酸カリウム	1本																																	
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分		○																													
パロノセトロン	0.75mg																																	
デキサメタゾン	9.9mg																																	
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分			○	○	○	○																									
デキサメタゾン	6.6mg																																	
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間		○																													
生理食塩液	500ml																																	
マンニトール	300ml	点滴静注	30分		○																													
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	24時間		○	○	○	○	○																									
生理食塩液	1000ml																																	
アプレピタント	125mg、80mg	内服			○	○	○																											

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

6コース施行後、PDまでフルオロウラシルのみ投与も可能。

**【シスプラチン】**

- ・投与前日から水分負荷を行う。シスプラチン投与から体重、尿回数、尿量、飲水量の確認を行う。
- ・水分負荷は5日間2L以上入るので、無理に飲水を行わず、通常の飲水を行う。
- ・体重の増加を認めた場合、排尿量確認し、利尿剤の投与を検討する。
- ・尿量、排尿回数が少ない場合は、受診を促す。
- ・1回投与量80mg/m<sup>2</sup>以上、総投与量300mg/m<sup>2</sup>以上を超えると高音域難聴の出現リスク上昇。

**【フルオロウラシル】**

- ・ワーファリンとの相互作用があるため、PT-INRを定期的に測定すること。

登録日： 年 月 日

参考文献：

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
FP療法(術前)	食道癌	2コース	21日	高度	年 月 日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
生理食塩液	1000ml	点滴静注	0時まで	○																							
生理食塩液	1000ml	点滴静注	24時間		○	○	○	○	○																		
生理食塩液	500ml	点滴静注	ルートキープ							○																	
生理食塩液	500ml	点滴静注	1時間		○																						
硫酸Mg補正液	8mEq																										
アスパラギン酸カリウム	1本																										
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分		○																						
パロノセトロン	0.75mg																										
デキサメタゾン	9.9mg																										
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分			○	○	○	○																		
デキサメタゾン	6.6mg																										
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間		○																						
生理食塩液	500ml																										
マンニトール	300ml	点滴静注	30分		○																						
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	24時間			○	○	○	○	○																	
生理食塩液	1000ml																										
アプレピタント	125mg、80mg	内服			○	○	○																				

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

進行再発と異なり、1クール21日。

**【シスプラチン】**

- ・投与前日から水分負荷を行う。シスプラチン投与から体重、尿回数、尿量、飲水量の確認を行う。
- ・水分負荷は5日間2L以上入るので、無理に飲水を行わず、通常の飲水を行う。
- ・体重の増加を認めた場合、排尿量確認し、利尿剤の投与を検討する。
- ・尿量、排尿回数が少ない場合は、受診を促す。
- ・1回投与量80mg/m<sup>2</sup>以上、総投与量300mg/m<sup>2</sup>以上を超えると高音域難聴の出現リスク上昇。

**【フルオロウラシル】**

- ・ワーファリンとの相互作用があるため、PT-INRを定期的に測定すること。

登録日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日      参考文献： \_\_\_\_\_

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
CDGP+5-FU療法	食道癌	有効時継続	28日	中	年 月 日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
生理食塩液	1000ml	点滴静注	24時間	○																											
生理食塩液	500ml	点滴静注	ルートキープ		○	○	○	○	○																						
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分																												
パロノセトロン	0.75mg			○																											
デキサメタゾン	6.6mg																														
ネダプラチン	100mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	90分	○																											
生理食塩液	500ml																														
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	24時間	○	○	○	○	○																							
生理食塩液	1000ml																														

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

悪心強ければday2,3にデキサメタゾン4mg/日追加検討  
腎機能が良くなシスプラチンが使用しにくい患者等に使用

**【ネダプラチン】**

水分負荷は基本的に点滴のみでよい。通常の飲水を行ってもらう。  
高齢者で使用する場合は、80mg/m<sup>2</sup>で投与することを検討する。

**【フルオロウラシル】**

・ワーファリンとの相互作用があるため、PT-INRを定期的に測定すること。

登録日： 年 月 日

参考文献：

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
ドセタキセル	食道癌	有効時継続	21日	軽度	年 月 日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
生理食塩液	250ml	点滴静注	ルートキープ	○																				
生理食塩液	50ml		15分	○																				
デキサメタゾン	6.6mg	点滴静注	1時間	○																				
ドセタキセル	70mg/m <sup>2</sup>			○																				
生理食塩液	250ml																							

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

**【ドセタキセル】**

- ・治療継続により、浮腫が出ることがあるため、患者に説明しておくこと。
- ・デキサメタゾン16mg/日を3日間内服することで浮腫の予防効果がある報告あり。
- ・好中球減少が強く出る可能性があるため、感染症には注意すること。
- ・関節痛・筋肉痛が出た場合は、鎮痛薬等で対処すること。

登録日： 年 月 日

参考文献：

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
パクリタキセル(6投2休)	食道癌	有効時継続	56日	軽度	年 月 日

### \* 治療スケジュール

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
生理食塩液	250ml	点滴静注	ルートキープ	○							○							○						○											○																								
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分																																																								
ファモチジン	20mg			○								○								○						○																																	
ネオレストール	10mg																																																										
デキサメタゾン	6.6mg																																																										
パクリタキセル	100mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	1時間	○							○								○					○																																			
生理食塩液	250ml																																																										

### \* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)

#### 【パクリタキセル】

- ・過敏症予防に抗ヒスタミン剤、H2受容体遮断薬、デキサメタゾン投与。
- ・添加物に無水エタノールが入っているため、アルコール過敏症の方に投与できない。投与前に確認が必要。(パクリタキセル100mgに缶ビール150ml分のアルコールが含まれている)
- ・白血球減少が強く出ることがあるため、感染症には注意。
- ・関節痛・筋肉痛が出た場合は、鎮痛薬等で対処すること。

登録日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 参考文献： \_\_\_\_\_

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
パクリタキセル(3投1休)	食道癌	有効時継続	28日	軽度	年 月 日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
生理食塩液	250ml	点滴静注	ルートキープ	○							○								○														
生理食塩液	50ml	点滴静注	15分																														
ファモチジン	20mg			○								○								○													
ネオレスタール	10mg																																
デキサメタゾン	6.6mg																																
パクリタキセル	100mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	1時間	○																													
生理食塩液	250ml											○								○													

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

**【パクリタキセル】**

- ・過敏症予防に抗ヒスタミン剤、H2受容体遮断薬、デキサメタゾンを投与。
- ・添加物に無水エタノールが入っているため、アルコール過敏症の方に投与できない。投与前に確認が必要。(パクリタキセル100mgに缶ビール150ml分のアルコールが含まれている)
- ・白血球減少が強く出ることがあるため、感染症には注意。
- ・関節痛・筋肉痛が出た場合は、鎮痛薬等で対処すること。

登録日： 年 月 日

参考文献：

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
ニボルマブ単剤	胃癌	有効時継続	14日	最小度	年 月 日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
生理食塩液	100ml	点滴静注	ルートキープ	○													
ニボルマブ	240mg	点滴静注 (フィルター使用)	30分	○													
生理食塩液	100ml																

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

- ・免疫関連有害事象について患者にしっかり副作用の初期症状について説明を行うこと。普段と異なる症状が出た場合は、受診を促すこと。
- ・毎月、間質性肺炎(KL-6、SP-D、X線)、甲状腺機能(TSH、F-T4)、1型糖尿病(血糖値、尿血糖、HbA1c)、筋炎(CK)など測定すること。必要時に副腎機能(ACTH、コルチゾール)なども測定すること。